ＪＦＴＳ ２０２５年度 通常総会資料

第１号議案　２０２４年度事業報告

第２号議案　２０２４年度収支決算

第３号議案　２０２５年度事業計画

第４号議案　２０２５年度収支予算

第５号議案　役員の選出（変更）

２０２５年5月１８日

日本フードツーリズム学会

第１号議案　２０２４年度事業報告

（1）通常総会

- 日　時：２０２４年5月１８日（土）　１０：００～１１：００
- 会　場：オンライン（Zoom）
- 議　題：第１号議案 ２０２３年度事業報告
  第２号議案 ２０２３年度収支決算
  第３号議案 ２０２４年度事業計画
  第４号議案 ２０２４年度収支予算
  第５号議案 役員の選出（変更）
  第６号議案 会則の変更（事務局および学会の所在地、振込口座）

（2）理事会

回	開催日	内　容	出席者	会　場
第1回	４月14日（日）	【審議事項】 ・研究分科会（研究支援費）の採択審議 ・第７回研究大会 ・新入会員の入会審査 ・２０２４年度通常総会の資料確認 ・理事の変更 【報告事項】 ・『日本フードツーリズム学会誌』第３号の編集進捗 ・韓日交流学会とのMOU 締結	６名	オンライン
第2回	４月２７日（土）	【審議事項】 ・新入会員の入会審査 ・事務局体制 ・理事の変更 ・２０２４年度通常総会の資料確認 【報告事項】 ・会費の支払い状況 ・『日本フードツーリズム学会誌』第３号の編集進捗 ・第７回研究大会	９名	オンライン
第3回	５月 １８日（土）	【報告事項】 ・2024 年度通常総会	９名	オンライン
第4回	７月２７日（土）	【審議事項】 ・新入会員の入会審査 ・第７回研究大会	７名	オンライン

第5回	１1月 9日（土）	【審議事項】 ・新入会員の入会審査 ・第7回研究大会 【報告事項】 ・セミナー、視察 ・会費納入状況	１0名	オンライン
第6回	1月12日（日）	【審議事項】 ・新入会員の入会審査 ・第7回研究大会 【報告事項】 ・会員状況	9名	オンライン
第7回	2月22日（土）	【審議事項】 ・学会誌の販売	―	書面開催

（3）フードツーリズムセミナー

・日　時：２０２４年5月１8日（土）　１１：００～１２：００
会　場：オンライン（Zoom）
講　師：村上 喜郁氏（追手門学院大学・日本フードツーリズム学会副会長）
テーマ：フードツーリズムとガストロノミー資源
参加者：３0名

（4）視察研修

・実施なし

（5）第7回研究大会

・日　時：２０２５年 2月 １5日（土）１３：００～１８：００
・会　場：しいのき迎賓館（金沢）
・参加者：２７名（うち、非会員は4名）
・プログラム

① 基調講演

・食文化の宝庫:加賀料理が紡ぐ歴史と現在(いま)
新澤 祥恵氏（北陸学院大学）

② 研究分科会報告（3件）

1)地域固有性を有するスムージーのフードツーリズムへの展開
野村 京子、藪下 保弘、川﨑 眞理子、小畑 博正、坂井 ひより、
佐藤 凛、廣瀬 吉謙

2)現代の和食シェフの育成プロセスに関する調査研究

梶原 晃

3)奈良のガストロノミーツーリズムの可能性を探る
～「奈良にうまいものなし」は返上できるのか～
白石 恵子、山口 美穂、浅野 幸治

③ 研究報告（7件）

1)会津若松におけるフードツーリズムの考察
初澤 敏生、熊谷 涼

2)大阪産(もん)の地域振興への活用とその課題
田中 遥菜、城元 風花、末綱 彩雲、網谷 香穂、富田 さくら

3)加賀の「伝統工芸と食文化」の相互補完関係
野村 京子、坂井 ひより、藪下 保弘、川崎 眞理子

4)47 都道府県における郷土料理を食する旅の移動距離に関する研究
大原 高秋

5)ハラールに対応したフードツーリズムの発展可能性に関する予備的考察
毛利 康秀

6)ホップ生産地におけるビアフェスティバルの現状と課題に関する一考察
石川 美澄

7)ディスティネーションレストランの検証
―飲食施設は地方誘客の観光目的足りうるか―
山口一弥

（6）『日本フードツーリズム学会誌』

・第3号を２０２４月6月発行した。
＊研究成果を社会に広げる目的で、国立国会図書館、公益財団法人味の素食の文化センター、旅の図書館に納本した。

（7）研究分科会（研究支援費）の公募

・２０２４年度は3件の研究分科会が採択された。

（8）会員数の状況

・２０２５年3月３１日現在
58名（うち、正会員５５名、学生会員3名、賛助会員０名）
＊昨年度の同時期から5名増加
なお、顧問（橋爪紳也氏)、名誉会員（佐藤智子氏）については、年会費を徴収しない

第２号議案　２０２４年度収支決算

２０２４年度収支決算書
（会計期間：２０２４年4月1日～２０２５年3月31日）

（単位：円）

【収入の部】			【支出の部】		
科目	決算額	予算額	科目	決算額	予算額
前年度繰越金	631,678	631,678			
会費収入	220,000	446,000	事業費	118,244	298,900
（正会員）	210,000	400,000	（謝金）	0	70,000
（学生会員）	10,000	16,000	（旅費交通費）	0	10,000
（賛助会員）	0	30,000	（研究支援費）	100,724	138,900
事業収入	0	20,000	（ブランド検討費）	0	20,000
（ゼミナー参加費）	0	20,000	（会場費）	17,520	40,000
寄付金	0	0	（印刷費）	0	10,000
協賛金	0	0	（消耗品費）	0	10,000
雑収入	5,000	0	管理費	34,606	55,000
			（HP運営費）	32,736	40,000
			（通信費）	0	5,000
			（雑費）	1,870	10,000
合計	856,678	1,097,678	合計	152,850	353,900
			次年度繰越金	703,828	743,778

監査の結果、上記決算書に間違いのないことを報告いたします。

２０２４年5月16日　　会計監査　　五嶋俊彦

２０２４年度収支決算書
（会計期間：２０２４年4月1日～２０２５年3月31日）

（単位：円）

【収入の部】			【支出の部】		
科目	決算額	予算額	科目	決算額	予算額
前年度繰越金	631,678	631,678			
会費収入	220,000	446,000	事業費	118,244	298,900
（正会員）	210,000	400,000	（謝金）	0	70,000
（学生会員）	10,000	16,000	（旅費交通費）	0	10,000
（賛助会員）	0	30,000	（研究支援費）	100,724	138,900
事業収入	0	20,000	（ブランド検討費）	0	20,000
（ゼミナー参加費）	0	20,000	（会場費）	17,520	40,000
寄付金	0	0	（印刷費）	0	10,000
協賛金	0	0	（消耗品費）	0	10,000
雑収入	5,000	0	管理費	34,606	55,000
			（ＨＰ運営費）	32,736	40,000
			（通信費）	0	5,000
			（雑費）	1,870	10,000
合計	856,678	1,097,678	合計	152,850	353,900
			次年度繰越金	703,828	743,778

監査の結果、上記決算書に間違いのないことを報告いたします。

2025年5月16日　会計監査　岡 恵

第３号議案　２０２５年度事業計画

（１）通常総会

・日　時：２０２５年5月１８日（日）　１０：００～１１：００
・会　場：オンライン（Zoom）
・議　題：第１号議案　２０２４年度事業報告
　　第２号議案　２０２４年度収支決算
　　第３号議案　２０２５年度事業計画
　　第４号議案　２０２５年度収支予算
　　第５号議案　役員の選出（変更）

（２）理事会

・年間５回程度を開催する。

（３）フードツーリズムセミナー

・外部講師などを招き、フードツーリズムに関連するセミナーを１～２回開催する。
・正会員の獲得も兼ねたセミナーとして、会員および非会員（非会員は有料 ── 入会する場合は無料とする）を対象に、事務局に設置されたフードツーリズムセミナー検討チームが積極的に企画・実施する。
・通常総会後に会員を主たる対象として、フードツーリズムセミナーを実施する。
　「ツーリズムにおけるソバーキュリアス概念の活用可能性」
　　青木洋高（文教大学・日本フードツーリズム学会事務局長・理事）

（４）視察研修

・本年度は国内でフードツーリズムに関連する視察研修を会員および非会員を対象に１回開催する。場所、内容などは現時点では未定であるが、学会の研究分科会と連携した視察とすることも検討する。
　＊視察研修は原則、現地集合・解散とし、必要な交通手配、宿泊等は各自個別に行う。
　＊視察研修に関わる謝礼などの経費は参加者で案分負担する。
　＊傷害保険等も参加者の責任での加入とし、学会としては事故等については免責とする。
　＊上記（３）のフードツーリズムセミナーとして実施する場合もある。

（５）第８回研究大会

・日時：２０２６年2月　（予定）
　場所：追手門学院大学（大阪）
　＊詳細は、今後の理事会で検討するが、概ね、第７回研究大会の内容（基調講演、研究分科会報告、研究報告）を踏襲して企画する。

（６）『日本フードツーリズム学会誌』

・第４号の発行に向けて、編集作業中である。２０２５年５月中に発行予定。

（7）研究分科会

・２０２５年2月１６日に公募を開始し、3月２３日に締切、4月１２日の第１回理事会において、以下の4件（新規2件、継続2件）が採択された。なお、以下の研究分科会への参加を希望する会員は、事務局から研究代表者にアポイントメントを取りますので、学会事務局にご連絡下さい。

【新規】ル・レクチェ農業残渣を活用したフードツーリズム開発
川﨑眞理子（研究代表者）
【新規】ウェルビーイング志向によるご当地グルメの創出
青木洋高（研究代表者）
【継続】奈良のガストロノミーツーリズムの可能性を探る
白石恵子（研究代表者）
【継続】現代の和食シェフの育成プロセスに関する調査研究
梶原晃（研究代表者）

＊継続は最長２年とし、研究費は前年度の残額を上限とします。

第4号議案　２０２５年度収支予算

２０２５年度収支予算書
（会計期間：２０２５年4月1日～２０２６年3月３１日）

（単位：円）

【収入の部】			【支出の部】		
科目	予算額	前年度実績	科目	予算額	前年度実績
前年度繰越金	703,828	631,678			
会費収入	310,000	220,000	事業費	310,000	118,244
（正会員）	300,000	210,000	（謝金）	70,000	0
（学生会員）	10,000	10,000	（旅費交通費）	10,000	0
（賛助会員）	0	0	（研究支援費）	150,000	100,724
事業収入	20,000	0	（会場費）	40,000	17,520
（ゼミナー参加費）	20,000	0	（印刷費）	20,000	0
寄付金	0	0	（消耗品費）	20,000	0
協賛金	0	0			
雑収入	0	5,000	管理費	55,000	34,606
			（ＨＰ運営費）	40,000	32,736
			（通信費）	5,000	0
			（雑費）	10,000	1,870
合計	1,033,828	856,678	合計	365,000	152,850
			次年度繰越金	668,828	703,828

＜科目別予算計上の考え方＞

前年度実績を参考にしながら、次のような考えかたにもとづき予算を計上した。

- 会費収入：正会員６０名（３月３１日時点で５５名）、学生会員５名（３月３１日時点で３名）を想定。
- 事業収入：2回の開催（１人当たりのセミナー参加費：会員は１０００円、非会員は１５００円）を想定。
- 研究分科会：１研究分科会あたり上限5万円とする（継続の2件は昨年度の残金のみ使用可能）。
- 会場費：理事会はオンラインや理事の本務校を積極的に利用するが、研究セミナーなどでその他有料の会議室を利用する場合もあることを想定。

第５号議案　役員の選出（変更）

会則により、役員の任期は３年であるが、理事の１名追加を行いたい。

【役員（敬称略）】

会　長：（留任）中村忠司（東京経済大学）
副会長：（留任）村上喜郁（追手門学院大学）
事務局長：（留任）青木洋高（文教大学）
理　事：（留任）稲本恵子（共栄大学）
（留任）傍嶋則之（名古屋産業大学）
（留任）萩野哲也（株式会社ＪＴＢ）
（留任）平島佳世子（株式会社 Double Doors）
（留任）山原一晃（東京経済大学）
（留任）薮下保弘（金城大学）
（留任）安田亘宏（旅の創造研究所）
（新任）野村京子（かなざわ食マネジメント専門職大学）
監　事：（留任）岡恵（弁理士法人オフィス大江山）
（留任）五嶋俊彦（京都外国語大学）